

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	市長公室		
	課名	企画政策課		
	係名	企画調整係		
	記入者		電話(内線)	227

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]		新規		(2) 事務事業 の名称			タイ王国メーサイ市国際親善姉妹都市盟約5周年記念事業			(3) 事業の 優先度		B	
(4) 総合計画での位置づけ							(6) 事業主体			市			
① 事業の区分		主要事業					(7) 予算・ 財源等 の種別		事業の性質		一般事業費(ソフト事業)		
② 施策コード		46102		(総合計画掲載ページ 129 ページ)					会計区分		一般会計		
基本目標(政策)		4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)							財源区分		市単独		
基本施策		4-6国や地域を越えた交流の推進(国際交流・地域間交流)							予算科目		款 2 項 1 目 11		
施策		①国際化に対応したまちづくりの推進							予算書上の		国際交流推進事業費		
施策内容		2国際親善姉妹都市との交流の推進							事業名称		(予算書 46 ページに掲載)		
(5) 事業期間		開始		昭和 63 年 7 月から		(8) 事務分類			自治事務				
		終了		年 月まで (力年)		根拠法令							

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象 (だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)
・国際親善姉妹都市(タイ王国メーサイ市) ・国際交流協会及び在住外国人を含む市民	タイ王国メーサイ市との国際親善姉妹都市盟約5周年記念事業を実施することにより、より活発な交流関係を構築する。 ・相互理解が深まり、交流が活発になる。 ・記念事業により、市民の国際理解及び在住外国人と市民との相互理解が深まる。 ・メーサイ市との行政間の連携が親密となる。
(2) 手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
タイ王国メーサイ市国際親善姉妹都市盟約5周年記念 国際親善姉妹都市との交流 ①市民訪問団の派遣 ②国際交流推進員の受入事業 ③調査団受入事業(メーサイ市からの介護福祉サービス調査団、ゴミ・下水処理システム調査団受入)	タイ王国メーサイ市とは平成24年11月国際親善姉妹都市を提携
(5) 事業をとりまく環境の変化(社会環境、市民ニーズ等)や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	
※旅費⇒5名分(市長、議長、秘書課1名、企画政策課2名) 1人 171,000円 ※委託料⇒国際交流協会(ホンさん人件費10万円×6カ月、その他 交流経費 40万円)	

3. 事業コスト

行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映					
実施計画											
● 予算内訳		実績額（千円）		当初予算額（千円）		計画額・見込額（千円）					
事業内容		27 年度		28 年度		29 年度		30 年度		31 年度	
(1) 事務事業費の コスト	事業費	旅費									
		委託料									
	合計										
	財源	国庫支出金 (千円)									
		県支出金 (千円)									
		地方債 (千円)									
		その他特定財源 (千円)									
		一般財源 (千円)									
合計 (千円)											
補助・起債制度名											

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）

指標の名称			単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）								
指標名	市民訪問団の派遣	目標値	回			1		
		実績(見込)値						
	国際交流推進員の受入れ	目標値	人			1		
		実績(見込)値						
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）								
指標名		目標値						
		実績(見込)値						
		達成率		%	%			
		目標値						
		実績(見込)値						
		達成率		%	%			

5. 事業評価

(1) 平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。

(2) 項目別評価

評価項目・客観的評価				理由
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	盟約締結5周年記念事業であり、必要性の高い事業である。
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である	
	手段の妥当性	A	妥当である	
効率性	コスト効率 人員効率			
公平性	受益者の偏り			
有効性	成果の向上			
進捗度	事業の進捗			

(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。

国際親善姉妹都市と良好な交流を継続するために、節目ごとに記念事業を実施することは有効である。

(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？

6. 事業の方向性判断

評価主体	28年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	予定どおり要求	注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	予定どおり要求	市民間及び行政間で、メーサイ市との関係をより深化させるために効果的な事業である。
(3) 最終評価 企画調整会議において 評価を行う		上記評価のとおり。